

鈴鹿医療科学大学

平成18年6月8日発行

同窓会会報 2006 春

発行：鈴鹿医療科学大学同窓会 事務局
〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1
鈴鹿医療科学大学内
FAX: 059-383-9666
E-mail: mail@sums-aa.com
ホームページアドレス: http://www.sums-aa.com

2005年度学位授与式が挙行されました

去る2006年3月17日、まだ肌寒い日差しの中、2005年度学位授与式が挙行されました。2005年度は大学院第9回、学部第12回となります。今年度は理学療法学科と臨床工学科（医用電子工学科から名称変更）の初めての卒業生を含め、大学院9名、保健衛生学部195名、医用工学部80名の新しい卒業生が誕生しました。新卒業生の皆さんは大学の課程を修了した満足感と自信、社会人としての新しいスタートへの期待にあふれる、晴れ晴れとした笑顔を見せていました。



目次

●卒業式News	1
●新卒業生レポート	1
●恩師からのメッセージ	2
●栄誉交流会についての報告	2
●同窓会会則	3
●同窓会掲示板	3
●各種証明書の発行のご案内	4
●同窓会からのお知らせ	4
●活動報告	4
●編集後記	4

新卒業生レポート

今回は各学科の新卒業生の方々に大学時代の思い出、社会人としての抱負などを聞いてみました。

この四年間で、楽しい時も辛い時も共に過ごせる素晴らしい仲間に出会うことができました。国家試験の勉強はとても辛く、毎日気に病むこともありましたが、一人ではなく同じように頑張っている人がいると感じることがとても励みになり、共に頑張ることができました。私が友人達から良い影響を与えてもらったように、私もこれからの人生で少しでも多くの人に良い影響を与え、支えていけるような医療人になりたいと思います。

放射線技術科学科 高山 恵子さん

私は今年の三月に医療栄誉学科学士課程を卒業し、現在は医療法人社団盛翔会 浜松北病院に勤務しております。大学では良き友人、先生方に恵まれ、とても充実した四年間を過ごすことが出来ました。これからは、一医療人としての自覚を持ち、患者様の健康作りやQOLの向上に貢献できるよう日々努力していきたいと思っております。

医療栄誉学科学科 秋山 佳子さん

あっという間にすぎた4年間。改めて振り返ってみると、思い深い、充実した日々だったように思います。考え、学び、悩み、そして楽しむことができたこの学生生活は、私にとって本当に貴重な経験となりました。社会人となり、辛いことも多々あるとは思いますが、遠く離れた地で一生懸命頑張っているであろう仲間達を励みに、乗り越えていきたいと思っております。

理学療法学科 武内 美樹さん

勉強のできる環境、息抜きをするタイミング、いろいろな人との出会い。人生の中で大学生というのはごく短い期間ではありますが、専門的な知識やこれから生きていく中で一般的な知識など、得たものは素晴らしいと大きく感じます。卒業した後、この四年間の経験というものをうまく活用していければなと思います。10年、20年先の自分なんて全く想像がつかませんが、一步一步確実に歩んでいけたらいいなと思っています。

臨床工学科 饗場 弘二さん

平成17年度卒業の皆様、いかがお過ごしでしょうか？現在私は大学院に進学し、卒研の研究内容を引き続き研究する日々を過ごしております。僕自身の大学生活は勉学中心とは程遠いものでしたが、卒研のテーマを引き続き研究したいと思い大学へ残る道を選択しました。皆様それぞれの道をまい進されることを願って挨拶とさせていただきます。

医用情報工学科 片桐 瑞樹さん



恩師からのメッセージ

退職にあたって

本学客員教授
渡辺 瞭先生

今回は、渡辺瞭先生から同窓生のみなさんにメッセージを頂きました。渡辺瞭先生は医用工学部臨床工学科および大学院医療画像情報学専攻で教鞭をとられておられました。2006年3月末で臨床工学科兼大学院教授の職を辞されましたが、新たに4月から本学客員教授に就任され、現在も本学でご活躍されておられます。

私は1994年4月に、本学の第1期生が4年生に進学した時に赴任し、今回、3月末日をもって退職しました。従って、同窓会会員全員の卒業に立会うことができたとのことになります。その間、大学名から「技術」が取れて現在の名称になり、学科数も3学部7学科に増えました。建物も中村ホールや新講義棟が増設されて、本学はハード、ソフトの両面で一層充実した大学になりました。

本学が創立された頃は、現在と違って医療系の4年制大学はまだ少なく、教育課程を構成する際にもいろいろの工夫がなされました。本稿では私の勤務した医用工学部を中心に述べてみますと、一つの大きな課題として、教育の中で医学的な思考と工学的な思考とをいかに融合させるかという問題があったと思います。それは医療系の技術者は一方では生体（あるいは人間）に、他方では機械というまったく性質の違う相手に対処しなければならないからです。工学では、物事は理論的な基礎の上に数値として設定され、従って工学ではその精密さが売り物です。一方医学では、常に変動し個人差も大きい生体システムを対象とし、しかも人の命を預かっているのですから、今最も危険なことは何か、それを避けるには何が最も重要かに常に目を注がねばなりません。この二つの分野の思考方法は、現実場面では時には矛盾を生ずることもあります。

今ここで振り返ってみますと、この医学、工学両分野の融合の点で私どもの教育は必ずしも十分とはいえない面もあったかと思いますが、同窓生の皆さん方は勉学において何とかこの異なる二つの体系を自分のものとし、また社会においてはそれに伴う種々の課題も乗り越えられて、現在それぞれの専門でエキスパートになっておられることに敬意を表したいと思います。

次に、医療において重要であるにもかかわらず、本学では殆ど教えられていない分野を挙げておきたいと思います。それはいわゆる医療ミスに関係の深いヒューマンエラー対策です。本来、ヒューマンエラー対策は機器使用におけるストレスと疲労の低減を研究対象とする「人間工学」の一分野ですが、産業や医療における安全対策の一分野ともいえます。ヒューマンエラー対策が一般に医療系大学のカリキュラムに殆ど取り入れられていない理由は、国家試験科目に含まれないからですが、将来は必ず必要になる分野と考えられます。人間工学は、学というよりは常識に近いという特徴がありますが、ヒューマンエラー対策において最も大切なことは、一般論として「人は誰でも間違える」ということを念頭において、たとえミスがあっても事故に結びつかないようにするシステムを構築することが大切です。現在、医療においてはバーコードの導入や、事故情報のデータベース化が試みられていますが、何といても医療関係者の個人レベルでの日常の工夫の形で、ヒューマンエラー対策を仕事のルーチンに組み込んでいくことが先決だと私は考えております。

同窓生の皆さん方は、今後ますます高度化・複雑化していく医療の有効、安全な提供を技術面で支えていくという非常に重要な役割を担っているのです。皆さん方のご活躍を切に祈念いたします。



栄養学科同窓会報告

11月5日（土）鈴鹿医療科学大学祭「碧鈴祭」に合わせて、医療栄養学科の第1期生から今年3月に卒業した卒業生と在校生が参加した「鈴鹿医療科学大学医療栄養学科同窓会・交流会」を大学構内B講義棟1階ラウンジにて行いました。

みなさんお忙しい中、日本各地から卒業生54名、在校生6名、先生方5名が参加しました。また、午前中に講演をお願いしました海南病院の小佛先生にも参加していただきました。卒業後このような同窓会がなかったので、参加してくださった方も懐かしい話に花が咲いて、学生時代に戻っているようでした。参加者のアンケートから「久しぶりにいろんな人に会えてうれしかった」「楽しかった」などたくさんの声がありました。中には「同級生が一人もいなかったのが残念だった」との声もありました。初回でしたが「もっとこうしたらいいよ」というアドバイスもたくさんいただきました。次回からは、さらによりよい会になるよう努めたいと思います。また、ご意見などを受け付けております。suzuka-nutrition-obog@hotmail.co.jpまでご連絡ください。

平成16年度卒業生
医療栄養学科 松本光穂

各種証明書の発行のご案内

卒業生の各種証明書の発行は、下記の方法によりお申し込みできます。
 詳細は、大学学生課または大学ホームページ
 (<http://www.suzuka-u.ac.jp/graduate/index.html>)
 にてご確認ください。
 各種証明書の種類および手数料は右記のとおりです。

種類	手数料
成績証明書	1通 200円 (英文 500円)
単位修得証明書	
卒業(修了)証明書	
修業証明書	
退学(在学期間)証明書	

1) 窓口でのお申し込み(所要時間10~15分)

業務取扱時間内に学生課備え付けの「証明書交付願」に必要事項を記入して申し込んでください。
 手数料は所定の証紙を購入し貼付してください。証紙は大学事務局内に発行機があります。各種証明書は即日交付致しますが、英文の証明書に関しては発行までに1週間程度を要します。なお、学生課は大学事務局カウンター左側です。
 ※申込受付及び発行業務を行う時間 月~金 9:00~16:45

2) 郵送でのお申し込み

- (1)~(7)の項目を記入し、(8)~(9)を同封の上、下記送付先に申し込んでください。
- (1) 学生番号、氏名、ふりがな
- (2) 生年月日
- (3) 卒業した学部・学科名
- (4) 入学年月・卒業(修了)年月
- (5) 必要な証明書の種類と部数
 (例) 成績証明書 1枚
 卒業証明書 1枚
- (6) 封入方法[成績証明書、卒業証明書を1通に厳封する、など]
- (7) 使用目的
- (8) 手数料[手数料分の郵便定額小為替を同封してください]
- (9) 返信用封筒[長形3号以上、送付先住所を記入の上、切手(普通、速達)を貼付してください。]

■送付先(証明書に関するお問い合わせ先)
 〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1
 鈴鹿医療科学大学 学生課 TEL 059-383-8991



★維持会費システムにご協力お願いします!

現在年2回発行しております「同窓会会報」は卒業生の皆様の会費により発行しています。同窓会では昨年から新たに「維持会費システム」(年間1口3000円以上)を導入しました。これは、会報の充実を図る、さらには同窓会活動をよりいっそう活性化させるためにご協力いただくためのシステムです。同窓会の維持、発展のためにぜひご協力をお願いします。ご協力の際は同封の振込み用紙をご利用ください。

★同窓会会報掲載記事募集!

同窓会会報やホームページに掲載する記事を大募集しています。近況報告や同窓会の報告などお寄せください。クラス会や同期会など少人数の同窓会報告も大歓迎です。また、同窓会開催を計画されている場合、ぜひ事務局までお知らせください。同窓会会報内「同窓会掲示板」や同窓会ホームページ(<http://www.sums-aa.com>)で案内させていただきます。同窓会開催後「近況報告」宛に写真を添えて同窓会開催報告をお送りいただきますと、同窓会よりクラス会補助(謝礼)を提供いたします。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

住所変更や勤務先に変更が生じたときは、同窓会事務局までメール(mail@sums-aa.com)またはFAXにてご連絡ください。また、同窓会に関するご質問、ご要望がありましたら同窓会事務局まで。
 ■お問合せ先 〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1 鈴鹿医療科学大学内 鈴鹿医療科学大学同窓会事務局
 E-mail: mail@sums-aa.com FAX: 059-383-9666

同窓会活動報告

2005鈴鹿医療科学大学碧鈴祭にて 同窓会コーナーを設置

去る2005年11月5日~6日に鈴鹿医療科学大学碧鈴祭が開催されました。碧鈴祭には毎年、卒業生も多く参加していただいていたが、今回初めて実習棟3階の医用情報工学科ブース横に同窓会コーナーを設置し、同窓会コーナーを訪ねてくださった卒業生のみなさんに記念品をお渡ししました。また、同窓会コーナーでは同窓会会報のバックナンバーも配置し、学生を始め訪れた人たちに閲覧していただきました。同窓会コーナー周辺では懐かしい人たちの再会の輪があらこちらで見られました。



編集 後記

桜の時期も終わり、鈴鹿も春らしい季節になりました。卒業式のころは鈴鹿おろしが吹き荒れとても寒いと感じたのですが、今では暖かな風として感じるようになりました。今回は卒業式をメインに構成しました。新卒業生のみなさんおめでとうございます!この会報が届くころには新天地にも少し慣れたころかなと思いつつ、わずか2月前の卒業式のことを懐かしく思い出しています。

4月にはピカピカの1年生が入学し学生数も多くなり、春恒例のフレッシュな雰囲気を感じている今日この頃です。次号では、入学式の様子も含め今年度の大学祭案内など情報満載にお届けしようと思っています。お楽しみに!(ま)